

事業名	企画展開催事業	評価実施者	所 属	美術自然史館
		職・氏名	副館長	森 昌之

主要事業の概要	開始年度	根拠法令等 博物館法、文化芸術振興基本法、科学技術基本法ほか					特定財源
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他〔 〕					
	目的	地域固有の課題に応える博物館として、創業60周年を迎えた北門信用金庫が所蔵する美術コレクションの中から、北海道美術史を形作る作品の数々を紹介する、北門信用金庫コレクションによる「北海道美術の潮流展」、自然史の収蔵資料を活用して、太古から地球のたどった道のりを知り、人と地球がどのように関わっていきべきかを、子どもたちをはじめ一般市民へ発信する「MESSAGE-太古からの警告展」を開催することで、ふるさとの魅力を再発見し、博物館の活性化を図る。					
事業内容	北門信用金庫コレクションによる「北海道美術の潮流展」は、北門信用金庫の全面的な協力により、所蔵するコレクションの中から岩橋英遠、片岡珠子らの作品44点ほか歴代のカレンダーを紹介(3,887人)。また、講演会やギャラリートーク、ロビーコンサート、芸術鑑賞バスツアー等(参加者のべ481人)の関連事業を開催。「MESSAGE-太古からの警告展」は、自然史の資料を活用した展示(3,057人)と、北海道化石会の協力による講演会、化石クリーニングのほか、ナイトミュージアムツアー等(参加者のべ366人)の関連事業を開催した。						

事業コスト	区 分	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	特 記 事 項
	事業費(A)			2,390	3,351	1,239	特定財源 北門信金負担金 2,321千円、いきいきふるさと推進事業助成金 650千円、入場料 279千円 ※単位:千円
	うち一般財源			268	101		
	人件費(B)			40,256	37,871	38,398	
	総コスト(A)+(B)	0	0	42,646	41,222	39,637	

実績と成果	区 分	単 位	H17	H18	H19	H20	H21	左記以外の20年度の実績・成果	
	事業の実績(アウトプット)	1 来館者・参加者数(人)							※H21 ①鮫島惇一郎・植物画展「北ぐにの花暦」 ②北海道版画協会創立50周年記念「北の大地の創造者たち」展 H20 ①化石展「MESSAGE-太古からの警告展」 ②北門信用金庫コレクションによる「北海道美術の潮流展」 H19 ①「りんごの木への想い〜木万寿三展」 H18 ①美術自然史館開館20周年記念「岩橋英遠とふるさと展」 H17 ①碓井廣重・植物画の世界展
		2 展覧会①	2,878	6,190	1,448	3,057	1,780		
		3 関連事業①		332	211	366	142		
	事業の成果(アウトカム)	1 展覧会②				3,887	1,563		
2 関連事業②					481	455			
3									

評価項目	点数	判定及び説明・考察						
1	適応性 有効性	10	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。					■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
			②事業の目的に照らして効果的な手法か。					■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
2	目 標 達成度	9	③目標の水準は適切か。					■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
			④計画通りに目標を達成できたか。					□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
地域ゆかりの優れた作品を紹介する展覧会、化石を通じて環境について考える展覧会を開催したことで、多くの市民が、心の豊かさや地球と人との関わり、自然環境の大切さを感じる機会となった。また、二つの展覧会に市内外から約7千人の来場、関連事業に約850人の参加があり、質の高さに驚きと関心の声が多く聞かれるなど好評を博し、博物館の活性化と滝川市の魅力アップに貢献した。なお、展覧会への小・中学生の来場が、北門信金コレクション展489人(12.6%)、MESSAGE展1,422人(46.5%)であり、学校との連携など子どもたちを集客する工夫が必要だった。								
3	経済性	5	⑤コストは縮減しているか。					■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
補助金を有効に活用するなど特定財源の確保に努め、効率的かつ効果的な企画展の組み立てを行った。								

総合評価	合計	24	ランク	(A~E)	上記評価を踏まえた事業の課題 地域固有の課題に応える博物館として、多くの市民に心の豊かさを感じてもらい、ふるさとの誇りを持ってもらえる魅力ある企画展を開催する必要がある。また、開催にあたっては、集客や事業の広がりを持たせるためにも、企業・団体・学校等との連携、他館とのネットワークを深めることが重要である。
	100点換算	96	A		
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スポットアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 現状維持					

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
 B : 71~85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
 C : 56~70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
 D : 41~55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
 E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判 定					点検・評価に関するコメント
1	適応性 有効性	10	① ■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1				
			② ■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1				
2	目 標 達成度	9	③ ■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1				
			④ □ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1				
3	経済性	5	⑤ ■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1				
		合計	24	100点換算	96	ランク	A
			/25	/100			
・補助金を有効活用するなど、予算の範囲でよい取り組みを行っている。 ・交通が発達し、札幌をはじめ大都市に気軽に行くことができる時代、このような企画展を地元で開催することの難しさ、集客の苦労はよく理解する。施設を運営する中で、使命・役割を果たすため努力していることを評価する。							

美術自然史館

◎ 美術自然史館

1 企画展活動

(1) 事業名

ア 書家・上田桑鳩展「桑鳩さん、はじめまして。」

開 催 平成20年4月19日～6月8日

入館者数 3,456人

イ 化石展「MESSAGE-太古からの警告-

開 催 平成20年7月12日～8月17日

入館者数 3,057人

ウ 北門信用金庫コレクションによる「北海道美術の潮流展」

開 催 平成20年9月20日～10月19日

入館者数 3,887人

エ 「みんなで時間旅行・昭和へGO！」

開 催 平成20年11月29日～平成21年1月18日

入館者数 1,558人

(2) 化石展「MESSAGE-太古からの警告-」関連事業

ア 「木村方一講演会～“北海道の脊椎動物化石とタキカワカイギュウの意義”」

開 催 平成20年7月12日

来場者数 35人

イ 「平田剛士ギャラリートーク～“あなたの隣のワイルドライフーなぜエゾシカは激増したのか”」

開 催 平成20年7月12日

来場者数 18人

ウ 「化石クリーニング」

開 催 平成20年7月27日

参加者数 39人

エ ナイトミュージアム「美術自然史館ロビーコンサート」

開 催 平成20年8月1日

来場者数 77人

オ ナイトミュージアム「ミュージアム寄席」

開 催 平成20年8月2日

来場者数 92人

カ 「ナイトミュージアム・ツアー」

開 催 平成20年8月8日

参加者数 105人

(3) 北門信用金庫コレクションによる「北海道美術の潮流展」関連事業

ア 講演会「北海道美術の潮流」

開 催 平成20年9月20日

来場者数 78人

イ 「ギャラリートーク&ミニコンサート」

開 催 平成20年9月23日

来場者数 90人

ウ ミュージアムコンサート「華麗なるフルートの調べ」

開 催 平成20年10月1日

来場者数 108人

エ 講演会「北海道に生きる画家としての想い」

開 催 平成20年10月5日

来場者数 61人

オ 「芸術鑑賞バスツアー」

開 催 平成20年10月11日

参加者数 34人

カ 「安藤千鶴子」語りの世界

開 催 平成20年10月17日

来場者数 110人

(4) 「みんなで時間旅行・昭和へGO！」関連事業

ア 本城義雄氏オープニングトーク「昭和の道具たち」

開 催 平成20年11月29日

来場者数 20人

イ 「國學院短期大学合唱部こすもす ミニコンサート」

開 催 平成20年12月23日

来場者数 15人

ウ 「ナイトミュージアム・スペシャルライブ!こつたるうライブ」

開 催 平成20年12月26日

来場者数 40人

エ 「サクソフォンカルテットsora ミニコンサート」

開 催 平成20年12月28日

来場者数 25人

オ ニューイヤー・ナイトミュージアムコンサート「フルートとピアノの夕べ」

開 催 平成21年1月9日

来場者数 76人

カ 杉吉貢のお絵かきワークショップ「らくがきしちゃおう！」

開 催 平成21年1月10日

参加者数 32人

2 特別展活動

- (1) 滝川書道展
 - 開催 平成20年6月20日～6月22日
 - 入館者数 331人
- (2) 高文連北空知支部美術展
 - 開催 平成20年8月22日～8月26日
 - 入館者数 389人
- (3) 高文連北空知支部書道展
 - 開催 平成20年8月28日～8月31日
 - 入館者数 238人
- (4) 道展中空知作家展
 - 開催 平成20年9月3日～9月7日
 - 入館者数 444人
- (5) 明苑中学校美術部作品展
 - 開催 平成20年9月10日～9月15日
 - 入館者数 440人
- (6) 明苑中学校美術部作品展「撫子展」
 - 開催 平成20年12月20日～平成21年2月1日
 - 入館者数 1,736人
- (7) 第55回滝川美術協会展
 - 開催 平成21年1月22日～2月1日
 - 入館者数 717人
- (8) はる展
 - 開催 平成21年2月11日～2月22日
 - 入館者数 694人
- (9) 北空知高等学校書道展
 - 開催 平成21年3月11日～3月15日
 - 入館者数 161人

3 教育普及活動

- (1) 化石教室
 - ア 「たんけん！500万年前のたきかわ 空知川化石教室」
 - 開催 平成20年6月28日
 - 参加人数 25人
 - イ 化石レプリカ作り
 - 開催 平成21年1月8日
 - 参加人数 30人
- (2) ちいさなはくぶつかん出前講座
 - ア 「体験！超低温の世界」

会場 砂川市立空知太小学校
 開催 平成20年11月20日
 参加人数 50人

イ 「体験！超低温の世界」
 会場 滝川第二小学校
 開催 平成20年12月19日
 参加人数 27人

ウ 「体験！超低温の世界」
 会場 駅前ひろば く・る・る
 開催 平成20年12月23日
 参加人数 300人

エ 「作ってさわろう！バルーンスライム」
 会場 北地区児童館
 開催 平成21年1月8日
 参加人数 24人

(3) 裸婦デッサン会
 開催 平成20年4月12日～平成21年3月21日（4回）
 参加者数 延べ122人

(4) 人物デッサン会
 開催 平成21年1月24日～3月14日（3回）
 参加者数 延べ39人

(5) 杉吉貢の「落書きワークショップ」
 開催 平成20年11月15日～11月16日
 参加者数 68人

(6) 美術館・絵本ワークショップ「のぶみとあそんじゃおう」
 開催 平成21年3月22日
 参加者数 69人

4 入館者数及び入館料

区分	有料入館者	入館料	無料入館者	入館者合計
一般	(1,605) 4,004人	2,431,600円	9,164人	13,168人
高校生	(41) 52	29,330	500	552
中学生	(1,059) 1,082	266,300	492	1,574
小学生	(1,395) 1,660	283,450	3,152	4,812
幼児	—	—	1,644	1,644
合計	(4,100) 6,798	3,010,680	14,952	21,750

() 内の数字は共通入館券利用者数

5 貸館料 5件 496,000円

◎ こども科学館

1 教育普及活動

(1) わくわくサイエンス

- ・ 8月2日 真夏の工作実験「蝶の鱗粉転写・ホバークラフト」
- ・ 8月9日 真夏の実験室「液体窒素-196℃の世界」
- ・ 1月17日 真冬の実験室「電気パン・使い捨てカイロをつくろう！」
- ・ 1月24日 真冬の実験室「空気の力」
- ・ 3月21日 春の実験室「人工カミナリと人工いくらを作ろう」
- ・ 3月28日 春の実験室「ギョギョッ！魚の解剖！」

開 催 平成20年8月2日～平成21年3月28日（計6回）

参加者数 延べ181人

(2) 滝川市児童生徒発明工夫作品展

開 催 平成20年10月4日～10月13日

作品数 82点

入館者数 556人

2 入館者数及び入館料

区 分	有料入館者	入館料	無料入館者	入館者合計
一 般	(1,605) 2,756人	339,900円	1,316人	4,072人
高校生	(41) 54	2,600	283	337
中学生	(1,059) 1,213	12,920	183	1,396
小学生	(1,395) 1,865	42,440	3,116	4,981
幼 児	—	—	1,572	1,572
合 計	(4,100) 5,888	397,860	6,470	12,358

() 内の数字は共通入館券利用者数

◎ 郷 土 館

1 教育普及活動

(1) 博物館めぐり

開 催 平成20年9月15日

参加者数 47人

(2) 移動郷土館「く・る・るdeレトロ イカす！デザインの道具たち DELUX！」

開 催 平成21年1月25日

会 場 駅前ひろばく・る・る

来場者数 600人

2 入館者数及び入館料

区 分	有料入館者	入館料	無料入館者	入館者合計
一 般	(31) 179人	22,200円	426人	605人
高校生	(1) 1	0	0	1
中学生	(6) 10	200	6	16
小学生	(39) 40	50	329	369
幼 児	—	—	129	129
合 計	(77) 230	22,450	890	1,120

() 内の数字は共通入館券利用者数

◎ 森のかがく活動センター

1 教育普及活動

村田武雄たきかわ野の花事業「夏の自然観察会・先生と学ぶ滝川の自然」

開 催 平成20年7月16日

参加者数 9人

2 入館者数 518人

3 貸 館 料 5件 1,800円